

平成28年度

# 優良PTA文部科学大臣表彰

## 実践例



生涯学習政策局社会教育課



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

子供たちのためには、大人たちのため

# 今こそ、PTA！保護者と学校の協働を！

優良PTA文部科学大臣表彰は、

本来の目的・性格に照らし、優秀な実績を上げているPTAを表彰し、

PTAの健全な育成、発展に資することを目的としています。

この資料は、この一部を紹介したものです。

PTA等の活動とは、

地域性や子供たちの実態により異なりますので、みなさんの活動の参考になることを期待しております。

# 室蘭市立海陽小学校PTA

所在地: 北海道室蘭市東町3丁目18番1号 / 全校生徒数: 児童451名

## 地域ぐるみで子どもを育てる ～ 地域参画型の取組! ～

### 学校の特徴

平成15年4月、東園小学校と大和小学校の統合と高砂小学校の一部児童の校区変更に伴う編入により開校した新設校である。今年で14年目。特別支援学級5学級を含む全校19学級編制の規模である。心地よい居場所としての学校づくりを基盤に、学校の状況を家庭や地域に説明や発信を行い家庭や地域と連携・協力した教育活動を進めている。

### 地域の特徴

国道や幹線の整備とともに市営高層アパート、新興住宅や大型店・ショッピングセンターの進出で、都市化の現象が目立つ。国道36号線と37号線の分岐点のため交通量も市内随一の激しさである。スクールバスによって通学する児童も多いことから交通安全には特段の配慮が必要で、定期的な交通安全指導や時宜に応じた特別な指導を行っている。

### 活動内容

- 学校、保護者、地域の親睦・連携を図る活動 ～ 「教育フォーラム・イン海陽」の開催
- 児童の安全確保を目的とした活動 ～ 交通安全指導員や町内会等と連携した交通安全街頭指導の実施
- 講演会の開催及び各種研修活動 ～ 消防署と連携した救命救急講習会の実施
- 広報的な活動と教育環境整備活動 ～ 広報誌「海陽」の発行と資源回収・ベルマーク収集を開校以来実施

### ○ 地域住民と連携した取組 ◇ 参画型協議会 ◇

学校評議員、学校医、図書ボランティア、連合町会会長、主任児童委員、PTA会長、おやじの会会長が集まり子どもたちの健全育成のために学校・家庭・地域が情報を共有している。

※「海陽小学校参画型協議会」とは、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の仕組みに準じた海陽小学校独自の組織。



## 特徴的な活動

### 具体的な取組について

- **運営の効率化と参加しやすい環境づくり**  
・誰でも参加できるPTAを目指し、「PTAガイド」を作成・配付することで、各委員会の活動の様子が誰にでも理解できるようにした。
- **組織体制の充実**  
・全員参加型のPTAを目指し、5つの専門委員会(学級・広報・文教・環境・生活)と2つの特別委員会(子どもフェスティバル・運動会)のどちらかに全会員が所属できるようにした。
- **海陽小学校参画型協議会**  
・「教育フォーラム・イン海陽」を実施し、「海陽小学校参画型協議会」の参加者である地域関係者と、子どもたちをよりよく育てるための学校・保護者・地域の連携について熟議した。  
(フォーラムのテーマ)  
第1回「地域の子どもたちを地域で育てる新しい学校づくりを求めて」  
第2回「次代を担う子どもを育てる新しい学校の在り方の創造」

### 海陽子どもフェスタ

【開催時期】10月下旬  
フェスティバル委員会委員  
91名(平成27年度)  
「海陽子どもフェスティバル」を開催し、フリーマーケットや物販で得た収益を図書購入に充てた。



- **工夫している点**  
・フェスティバル委員会の創意工夫により出店数や内容を決定した。  
〔平成27年度〕  
①フリーマーケット②お菓子販売③ジュース販売  
④縁日コーナー(ヨーヨー・くじ・ぶよぶよ)  
⑤ゲームコーナー「ストラックアウト」「輪投げ」「射的」  
「型抜き」「迷路」  
・フリーマーケット出品の募集(リユースできるものを各家庭から募集)  
・フェスティバル当日の保護者アシスタントと子どもアシスタントの募集



- **体力向上の取組**  
おやじの会が主催するフットサル大会を開催し、低学年、高学年、保護者が熱戦を繰り広げ、体力向上に取り組んだ。

### ○ その他の活動

環境美化運動、交通安全普及活動、講演会・研修会、図書ボランティア、読み聞かせ、特別支援ボランティアなど



## 成果

- ・「参画型協議会」を開催することで、地域の活性化につながった。
- ・海陽子どもフェスティバル等の取組により、子どもから大人まで、みんなで交流・活動する機会が増え、学校の教育活動に対して地域が協力的になった。
- ・「PTAガイド」の作成により、各家庭の状況に応じた協力できる内容が確認でき、協力体制を強化する仕組みづくりがなされ、PTA活動の維持・向上が図られた。

## 課題

- 本校だけの活動にとどまらず、中学校区内(中学校1校、小学校2校)における地域ぐるみで子どもを育てるため、校区内の3校が連携・協働で取組を進める仕組みづくりが必要である。

# 斗川小学校PTA

所在地：青森県三戸町 / 全校児童数： 43名

## 学校・家庭・地域の連携を深める活動の充実！

### 学校の特徴

PTA役員を中心に保護者の結束が固く、児童のことを第一に考えて活動している。平成28年度、創立20周年を迎え、行事の際には児童・教職員・保護者がお揃いの記念Tシャツを着て盛り上げている。芝生の校庭をはじめ、保護者の協力を得ながら管理している美しい学習環境が自慢。

### 地域の特徴

豊川・斗内・大舌の3小学校が統合したため学区が広く、3地区の世帯数は555戸あるが、児童の世帯数は現在31戸と年々減少している。しかし、その分、地域の学校として各町内会からの支援も厚く、児童は地域の行事にも参加しながら豊かな自然の中でのびのびと成長している。

### 活動内容

世帯数減少を補うための準会員募集、学校・家庭・地域との連携を深める親子教室・収穫祭 等

### 特徴的な活動

#### 充実した活動にするための取組

- 世帯数の減少を補うための取組
  - ・約半数の家庭で、強制ではなく、積極的な意志によって父母がそれぞれ別の専門委員会に所属し、活動を活発なものにしている。
  - ・児童が在籍しない学区内の家庭にも声をかけ、準会員として約250名から会費を集め、運営費や活動費に充てている。
- PTA活動に関する会員の理解や協力を得るための工夫
  - ・PTA新聞を学区全戸に配布し、学校行事やPTA活動の様子について知らせている。
  - ・学校便りやPTA総会、児童活動後援会の資料を、学区の各地区に回覧板で回している。

#### 親子教室・収穫祭

- 【親子教室（11月開催）】
  - ・青森県が推進する食育に関する取組「だし活」料理の紹介など、体験活動を通して健康について親子で考える場を設けている。
- 【収穫祭（12月に開催）】
  - ・開催前日に、保護者と児童と一緒に準備をしている。
  - ・社会福祉協議会と連携し、地域に住む高齢者を招待している。
  - ・収穫された餅米を販売し、収益はPTAの会計へ繰り入れている。



<親子教室>

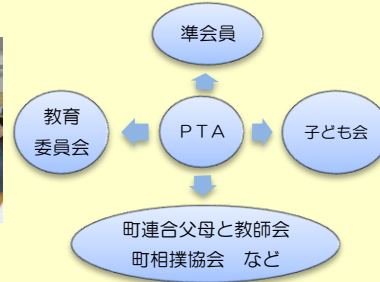


<収穫祭>

- バス停の点検・整備
  - 児童が登下校で利用するバス停の点検・整備を行い、安全に登下校できるようにしている。
- 教育講演会の開催
  - 三戸町連合父母と教師の会、三戸町教育委員会とが共催し、いじめ防止をテーマにした講演会を開催した。



<教育講演会>



- その他の活動
  - 図書ボランティア、春の交通安全街頭指導、秋の交通安全プレゼント作戦、公民館主催のあいさつ運動への協力、子ども会行事への協力、斗内神楽の伝承、町内会と共催する運動会 等

### 成果

- 世帯数の減少を補うための取組を行うことによって、活発なPTA活動を維持・向上させることができてきた。
- PTA新聞や学校便りなどを全地域に回覧することによって、学校教育やPTA活動に対する地域住民の理解が深まってきた。
- 関係機関と連携して様々な活動に取り組むことによって、学校・家庭・地域の連携がより一層深まってきた。

### 課題

- ・地域の学校として、より多くの世帯を巻き込んでPTA活動を活性化させること。
- ・中学校区の2小学校のPTAが親睦を深められるような場を設定し、進学先でも協力し合い積極的に活動できるようにすること。



# 盛岡市立大宮中学校PTA

## 共に汗を流し、共にふれあいを深める活動

所在地: 岩手県盛岡市 / 全校生徒数: 541名

### 学校の特徴

昭和41年に太田中学校と本宮中学校を統合して大宮中学校が設立され、今年度51年目を迎えています。「強いからだ」「豊かな心」「高い知性」を学校教育目標とし、その達成に取り組んでいます。

### 地域の特徴

【東西にまったく異なる表情をもつ学区】

学区の中央部に高速自動車道が走り、東側は、現在も開発が行われている商業施設や住宅街が広がっています。一方、西側は、肥沃な土地と豊かな水に恵まれた田園地帯です。学区内には、県立美術館や子ども科学館、先人記念館、原敬記念館、遺跡の学び館などの文化施設等があります。また、アイスアリーナや総合プール、アイスリンクなどのスポーツ施設のほか、市立病院や民間テレビ局があり、現代的な市街地と農村風景が融合した地域です。

### 活動内容

・PTA文化教養部の家庭教育学級(年2回の講演会等) ・PTA進路指導部の高校説明会 ・PTA生活指導部の巡回指導(年3回) ・あいさつ運動(5~11月)  
・地域とともに「地域一斉奉仕活動」や「地区一斉スポーツレクリエーション」など

### 特徴的な活動

#### 地区一斉スポレク

【開催時期】10月中旬の日曜日

- ▶ 年に1回、昨年度で15回を数えた。地域の方々、PTA、小中学生の参加を得て、世代間交流を図るスポーツ大会。
- ▶ グラウンドゴルフやゲートボール、シャフルボード、ウォーキングなど、中学校を会場に開催される。
- ▶ 各町内会長と自治会長、PTAと学校が協力して運営する。



#### 地区一斉奉仕活動(クリーン作戦)・おやじの会環境整備

【開催時期】6月上旬の日曜日

- ◆ 20年以上続いている活動。各地区の計画により、中学生、PTA、町内会の方々が集まり、公民館清掃や道路のゴミ拾い、草取りなどの活動を行う。
- ◆ 朝6時から活動開始。
- ◆ 毎年、合わせて1,000名を超える参加者。
- 同日におやじの会主催の学校環境整備活動「側溝清掃」も実施。
- 「おやじに」交じってお母さんたちも参加。



#### 全保護者が参画するあいさつ運動の取組

(PTA生活指導部)

- ✓ 全保護者が1回ずつ校門前で生徒とともにあいさつ運動を行っている。
- ✓ 地域の防犯隊や交通安全指導員の方とも合同で実施している。



#### 前期・後期「高校説明会」の開催(PTA進路指導部)

- ✓ 市内の公立高校と私立高校の先生を招き、各高校の様子を説明してもらっている。
- ✓ 昨年度は、225名の保護者が参加した。

#### その他のPTA活動

- ✓ 家庭教育学級(PTA文化教養部)
- ✓ 地区対抗親子ソフトバレーボール大会(PTA厚生部)
- ✓ 広報誌「おおみや」年3回発行(PTA広報部)



### 成果

- 教育振興運動の二大行事として、「地区一斉スポーツレクリエーション」と「地区一斉奉仕活動」に取り組み、どちらも息の長い活動になった。どちらも楽しみながら世代を超えて共に汗を流すことができる事業である。また、多くの参加者があったことで、PTAや地域と子どもたちがふれあうことができ、地域の活性化(まちづくり)につながった。
- PTAの各専門部が独自の事業を企画・運営し、特色のある工夫した活動を展開することができた。

### 課題

- ◆ 長く活動が続くと、停滞することがある。時には原点に立ち返って、活動の目的や意義を考え、十分に理解して参加してもらうことが大切である。
- ◆ 学区内の開発事業による人口増により、別の中学校区に変更となった地区もあるため、町内会と連絡を密にした対応が必要である。



# 仙台市立沖野東小学校PTA

◎ 所在地 宮城県仙台市若林区沖野字高野南 8 9 ◎ 全校児童数 3 5 9 人 (H28・5・1現在)

## 学校の特徴

• 仙台市の東南部に位置しており,三方は田畑に囲まれ自然豊かな地域にあります。

## 地域の特徴

• 学区住民の学校に対しての期待も大きく,協力をしてくださる方々がとても多いです。

## 活動内容

• あいさつ運動,ひまわりプロジェクト,沖東夏まつり等に積極的に取り組んでいます。

## 元気にあいさつ

「あいさつ運動」マーク



こんな笑顔で元気にあいさつしてくれる子が増えたらいいなあという思いをこめて... ^▽^  
おきの「お」を表しています。

(H22・児童保護者応募作品)

### (あいさつ運動)



平成22年度から,学校とPTA,そして地域との連携を図りながら「あいさつ」の重要性を考え,「あいさつ運動」を展開してきました。

#### 『成果』と『課題』

- 年々明るいあいさつや元気なあいさつが増えてきている。
- 自発的なあいさつや積極的なあいさつをもっと増やしていきたい。

☞あいさつ運動の他にこのような活動も行っています。

### (ひまわりプロジェクト)



子供たちに,植物を育てる喜びや大変さを知ってもらい,地域の方々の協力を得ながら地域緑化等の貢献にもつながっています。\*平成23年度から実施

### (沖東夏まつり)



PTAを中心に町内会,体育振興会,婦人防火クラブ,老人会,歴代PTA会長,児童館等の地域諸団体で「夏まつり実行委員会」を組織し,夏まつりを実施しています。今年度で第29回目になりました。

# 大館市立成章小学校PTA

所在地:秋田県大館市 / 全校児童数:100名

## 小・中・高12年間を通じた地域PTA組織で、地域ぐるみの子育てを推進

### 学校の特徴

旧藩政時代の成章書院を起源とした学校で、古くから地域に支えられてきた。地域全体を学び舎に、地域住民を先生として、教育目標「心豊かにたくましく生きる子ども」のもとで、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくりを目指している。

### 地域の特徴

学区にJR花輪線の3駅を擁し、旧国道103号線沿いに温泉地域と農村地域が点在している。学校の西側に隣接する、県北部総合福祉エリアには、高齢者の住居や在宅福祉施設、放課後児童施設等があり、世代間交流や生きがい活動の拠点となっている。

### 活動内容

小・中・高12年間を通じた地域PTA組織である十二所地区PTA連絡協議会の中心となって、幅広い世代の住民や地域団体と協働しながら、教育支援活動や地域環境の改善活動を推進している。

### 特徴的な活動

#### 学校教育を支援する取組

- 親子で交流しながら行うPTA窓ふき作業を実施



- OPTA開催時に地域住民を講師とした親子学習会を実施

- 運動会のメインイベント「成章ソーラン」での大漁旗振り



- ふるさとキャリア教育「成章かがやきプロジェクト」と「成章フェア」への協力

#### 世代間交流による教育環境の改善の取組

- 十二所地区PTA連絡協議会で講演会や研修会、会員交流会を実施して、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進

- 「三世代交流ふれあい花壇」の継続実施により環境美化を推進



- 「わらべ見守り隊」が登下校指導と同時にあいさつ運動も実施して地域住民との交流を促進

- 地元商店街と連携した取組

会員が、地元商店会による買い物の還付金活動「大館愛購会運動」に積極的に参加し、還付をPTAの学校支援に活用

- 親子で共に活動し、感動を共有する取組  
親子登山 スキー教室



- 学習活動に参画  
生活や総合的な学習の時間、正課クラブ活動、読書活動などにゲストティーチャーとして参画



### 成果

- ・ 世代間交流事業の継続実施により、PTA会員のいない家庭や高齢者世帯などが加わり、地域ぐるみで子育てを推進する気運が高まった。
- ・ 日常の買い物学校支援につながる仕組みを構築したことにより、いつでも、だれでも、無理なく子育てに関わることができるようになった。

### 課題

- ・ 地域の思いをより一層反映し、地域を活性化させるPTAの在り方を検討していきたい。



# 山形県立酒田光陵高等学校PTA

所在地: 山形県酒田市 / 全校生徒数: 1,148名

## 郷土に誇りを持ち、地域とつながる心の育成を目指すPTA

### 学校の特徴

平成24年春、酒田市内の県立高校3校と市立高校1校が統合し、地域の大きな期待を受け開校した。普通科と工業科・商業科・情報科の3つの専門学科をもつ総合選択制の高校で、全30クラス、1,148名の生徒が学んでおり、その規模は、公立高等学校としては東北・北海道地区で最も大きい。活力あふれる元気な生徒が学んでおり、とくに明るく気持ちの良い挨拶の声は近隣住民の皆さんだけでなく、来校した方々にも好評である。部活動も盛んで、運動部文化部合わせて35の部が活動し、学校に元気をもたらしている。

### 地域の特徴

酒田市は山形県の日本海側に広がる庄内平野の北部に位置し、北には鳥海山がそびえ、市の中心を流れる最上川がその昔北前船で栄えた酒田湊にそそぐ港町である。海山川に囲まれた恵み豊かな街は、貿易港を起点に活躍する商人の町として、古くから様々な文化の交流拠点となってきた。

### 課題解決のための取組み

#### ■地域住民の不安解消に向けた取組み

##### ○交通対策部による街頭指導

生徒の登下校時の交通事故や送迎による渋滞など、地域住民の不安解消のための交通対策を行う専門部を独立して組織。登校時の街頭指導を中心に行う。

##### ○環境保健部による環境整備

防風林の中に立地する校舎周辺の環境整備を行う。

夏は花卉植栽、校舎窓の松花粉除去、秋は落ち葉の除去、冬は除雪等の環境整備活動を保護者、教職員、有志生徒とともに行う。

#### ■規模の大きさならではの課題解決に向けた取組み

PTA会員同士のかかわりが希薄になることへの対策として、学級PTA活動の年2回以上開催を目標に掲げ、予算措置も行う。



### 特徴的な活動

#### ■生徒、PTA、地域の大人が連携し、実現した取組み

OPTA懇親会における発案で、保護者が他の保護者を巻き込んで協力し合い、実現した。

法被の手配や山車の運搬、水分補給の補助等、それぞれの保護者の得意分野を活かし、祭を支える地域の大人と生徒、学校が連携をとることによって、充実感のある取組みとなった。

### 地域祭典（酒田まつり）参加への協力



■開催時期: 5月20日

江戸時代から続いている酒田の祭り。大獅子仔獅子や傘鉾など約50台の山車が市内中心部を練り歩く。

ネット社会が浸透し、親と子の関係も希薄になりがちになる中、将来地域を支えていく子供たちに地域とつながる心を育てたいとの願いから、3年次生徒とともに参加した。

#### ■その他の活動

- 生徒とPTAを対象にネット社会の危険と情報モラルについての講演を開催
- 毎年PTA総会で、いじめ根絶アピールを宣言
- 緊急連絡メールシステムへの支援

### 成果

本校のPTAは立ち上げて5年目を迎える。まだまだ課題は多いが、その解決のため、たとえ答えが見つけられなくても「できることからやってみる」という姿勢で臨むことで、大きな収穫があることを実感した。

### 課題

今後、生徒に地域とかかわる様々な活動をより多く経験させることで、地域に生きる大人との生きたコミュニケーションを通して、生徒の自立と心の成長を支えていきたい。



# 【福島県喜多方市立熊倉小学校父母と教師の会】

所在地:福島県喜多方市 / 全校児童数: 69名

## 学校の特徴

絶好の教育環境の中で、学校、保護者、地域が一体となって、自分を誇れる熊倉っ子と地域に誇れる熊倉小学校づくりに、取り組んでいる。

## 地域の特徴

高山植物で有名な雄国沼の玄関口にあり、美しい四季の眺望に囲まれた学校です。

## 活動内容

### 特徴的な活動

- 朝のあいさつ運動や交通安全指導が綿密な計画のもと継続して行われている。



- 夏期休業中に実施している「親子資源回収活動」は、中学校PTAとの合同事業であり、学校のみならずPTAとしても小中連携を意識した活動を展開している。

- 子どもが安全・安心に登下校するために、道路等の危険箇所マップ作り、及び立て看板作りや、「子ども避難の家」の継続依頼を行うなど、学区内の安全点検と整備に貢献し、地域全体で子どもを見守ることができた。



- 年5回の授業参観、保護者懇談会、さわやか学級(祖父母参観、給食試食、講演会)、学年PTA行事、地区懇談会等を実施し、学校と家庭の連携や児童理解に努めている。



## 成果

- 各部会、学級委員会にはすべての教員が所属し、PTAと学校側の共通理解を図りながら活動につなげることができた。

## 課題

- 児童数の減少に伴うPTA会員数の減少が課題である。

# 茨城県立下館工業高等学校PTA

所在地：茨城県筑西市玉戸1336-111 / 全校生徒数：714人

## 家庭と学校の連携を図るPTA活動

**学校の特徴** 平成23年に創立50周年を迎え、1万1千余名が学窓を巣立ち、地域社会はもとより国内外で活躍し、日本の産業発展に多大な貢献をしています。資格取得においては、「第二種電気工事士」と「2級ボイラー技士」の合格者数は、全国の工業高校の中でもトップクラスである。

**地域の特徴** 筑西市は、茨城県の西部、日本百名山の一つ「筑波山」の西側に位置する自然の恵み豊かな中核拠点都市で、平成17年に1市3町が合併し誕生しました。二人の文化勲章受章者「陶芸家の板谷波山」「洋画家の森田茂」を輩出しています。

### 活動内容 【特徴的な活動】

#### ○ PTA本部役員と生徒会役員・各部活動代表者との懇談会

5年前から保護者、生徒それぞれの立場から、意見や要望について話し合い、相互に意識の高揚を図ることを目的に、懇談会が行われています。生徒からの様々な意見や要望に対して、PTAとしてできる範囲での支援を約束して、学校側に要請しています。

#### ○ 保護者に対するメール一斉配信

保護者の要望「緊急時の連絡方法の確保」をPTA本部役員会で審議して、「メール一斉配信」の準備を進めました。4年前からは、学校側から多くの情報が保護者に向けて配信され、「学校と家庭の情報の共有」を目指しています。

#### ○ 学年PTA活動 ～「親から我が子への手紙」～

学年委員会の話し合いの中で、「もっと多くの保護者の皆さんに、PTA活動に取り組んでいただきたい。」という意見があり、学年委員を中心に、保護者が誰でも参加できる「親から我が子への手紙」を書いてもらうことになりました。どれだけの保護者に協力を得られるのだろうかという不安の中、保護者全員から手紙が学校に届きました。この手紙は、修学旅行中の沖縄で、先生から子どもたちに渡されました。親からの手紙を読み、子どもたちも「子どもから親への手紙」を書いて、沖縄から投函しました。保護者の方も、返事が届くとは思いませんでしたので、驚きと感動がたいへんあったようです。学年委員のこの働きかけが、これからの家庭と学校の絆を育むPTA活動の一歩になればと願っています。

#### ○ キャリア教育の支援

公共機関や民間事業所に協力を依頼して、インターンシップの実施を支援している。また、県内外の大学等との連携を支援し、模擬授業を実施するなど、キャリア教育の推進にも支援している。



【PTA役員と生徒との懇談会】

懇談会の目的は、保護者とPTA役員・生徒会役員・各部活動代表者との話し合いを通じて、相互に意識の高揚を図ることにあります。また、生徒からの様々な意見や要望に対して、PTAとしてできる範囲での支援を約束して、学校側に要請しています。



【「親から我が子への手紙」その様子】



【保護者に対するメール一斉配信】



【挨拶運動・登校指導】



### 成 果

これらの活動をとおして、家庭と学校が「子どもたちを共に育てよう」という共通理解のもとで、互いに信頼関係を深めることができています。また、各家庭では、親子の会話がこれまで以上に増えているようです。

### 課 題

子どもの教育やしつけは、家庭が基本です。しかし、子どもたちを取り巻く複雑な社会環境の中では、家庭の教育力だけではどうにもならないこともあり、学校や地域の方々の協力・支えが必要となります。家庭での親の役割や学校での教師の役割、地域での人々の役割を、それぞれの立場で担い、共に手を携えていくことが大切です。「帰りたい家庭、行きたい学校、暮らしたい地域づくり」を目指して、これからは様々なPTA活動に取り組んでいきたい。



# 宇都宮市立宝木中学校PTA

所在地: 栃木県宇都宮市細谷町604番地 / 全校生徒数: 368名

## 学校・家庭・地域との連携による生徒の健全育成をめざした取組

### 学校の特徴

創立36年目。人権尊重を基盤とし、豊かな人間関係に支えられた『めくもりと夢のある学校づくり』を推進しています。

### 地域の特徴

宝木用水に沿って農地が開発され、のどかな田園風景が残っている。集合住宅をはじめ宅地が造成され、人口が増加している。近くに宇都宮環状道路があり、市街化の様相を強めている。

### 活動内容

#### 特徴的な活動

#### ○創立記念断郊協歩大会における協力支援並びに地域の防災意識の高揚

全生徒が励まし合い協力しながら(協歩)、約15kmの距離を完歩する(断郊)ことで、生徒の健康維持や体力増強を図るとともに、学級の絆を深め、郷土を再発見する機会になっている。PTA会員が、生徒の安全確保や豚汁等の用意を行っており、約150名の保護者と地域の方に協力いただいている。豚汁等を作るときに使用する「かまどベンチ」は、災害などの非常時には炊き出し用かまどとして活用することができる。学校が地域防災の拠点としての機能を高め、防災意識の高揚に寄与している。

#### ○研究授業における生徒の自習体制の支援

全教員が研究授業を参観できるよう、PTA会員が生徒の自習体制を見守っている。授業研究会において活発な意見交換ができ、生徒の学力向上と教員の授業力向上に大きく貢献している。

#### ○生徒の地域ボランティア活動の支援

PTA会員や地域の団体で組織する「宝木中学校魅力ある学校づくり地域協議会」の協力で、生徒が地区体育祭や宝木まつり、敬老会などの地域行事にボランティアとして参加している。自己有用感が高まり、心豊かでたくましい生徒の育成に寄与している。

#### ○PTA研修委員会と共催した生徒・保護者対象の講演会

毎年実施している「薬物乱用防止教室」や「性教育講話」を、PTA研修委員会と共催で開催し、保護者にも参加を呼びかけ、研修の機会を提供している。

#### ○宝木中学校区PTA連絡協議会の実施

近隣の小学校4校と本校のPTA役員が一堂に会し、各学校の活動内容を紹介したり、児童生徒の健全育成を図るための取組を話し合ったりして、PTA活動の活性化に努めている。



創立記念断郊協歩大会



かまどベンチの活用



薬物乱用防止教室



地区敬老会への参加

#### 成果

○保護者が学校に来る機会を多く設けることで、教職員と保護者が一丸となり、常に子どもたちを中心に据えた活動や教育環境づくりに貢献できるとともに、地域の防災意識の高揚にも役立っている。

○生徒が地域行事等においてボランティア活動をすることで、自己有用感が高まり、地域の方とふれあうことで地域の活性化にもつながっている。

#### 課題

○年間活動計画に従いPTA会員が協力して活動を展開しているが、会員数の減少に伴い徐々に参加者が限定されつつある。前年度踏襲ではなく、新たな取組を展開しようとする機運を高めることが課題となっている。

【 栃 木 県 教 育 委 員 会 生 涯 学 習 課 】



# 藤岡市立東中学校 P T A

所在地: 群馬県藤岡市本郷786番地 / 全校生徒数: 488名

## 「凡事徹底」と「一致協力」学校・保護者・地域をつなぐPTA活動

### 学校の特徴

創立41周年を迎え、「自主・挑戦・共生」の教育目標のもと、落ち着いた学習環境を実現し、文武ともにめざましい成果を上げている。特に、校区の3つの小学校とともに「連携型小中一貫教育」を推進し、義務教育9年間を見通した学力向上と生徒指導の充実に積極的に取り組んでいる。

### 地域の特徴

本校区は、藤岡市の中心から南東、埼玉県と隣接する位置にある。世界文化遺産「高山社跡」をはじめ、埴輪窯跡や日本三大相撲辻など有意な史跡が多く、歴史と文化の香りの高い、自然豊かな地域である。市立図書館、市学習センター、市民体育館などがあり、教育環境も整っている。

### 活動内容

#### 特徴的な活動

#### 「給食費未納〇(ゼロ)キャンペーン」の展開

##### 〇趣旨

社会問題化していた給食費滞納問題への懸念から、保護者啓発と「滞納なし」の維持をめざす。

##### 〇手段

PTA総会や保護者会での呼び掛けや、各種通信物に、ロゴ(下図)を掲示し、周知・啓発。



凡事徹底

家庭の教育力強化

#### 食育の推進

##### 〇「お弁当の日」実施(年3回)

食の自立が成長を促すとの理念のもと、給食のない学校行事の日の弁当を、生徒に自作させることをPTAが提案して実施。講演会や調理教室と連動させ、充実を図っている。

##### 〇「PTA親子調理教室」実施

エコクッキングなどの講師を招き、お弁当づくりを、技能面・栄養面でサポートしている。

##### 〇「PTA家庭教育講演会」の実施

平成27年度は、お弁当の日運動の提唱者を講師に招聘。

一致協力

すべては子ども達のために

#### 環境整備活動

##### 〇「PTA環境整備作業」の実施(年2回)

##### 〇地域でふれあうあいさつ運動の実施

生徒やPTA役員が、区長、民生児童委員や校区の小学校と連携して、あいさつ運動を実施している。



あいさつ運動の様子



親善バレーボール大会

##### 〇校区小中学校PTA親善バレーボール大会の実施

校区の小中学校のPTAがバレーボールを通して交流し、連携したPTA活動の推進と、小中9年間を見通した健全育成のため、親睦を図っている。



お祭りのパトロール

##### 〇その他の活動

- ・給食時の読み聞かせ
- ・地域健全育成パトロール
- ・子どもフェスティバル参加など

### 成果

- ・「給食費未納〇(ゼロ)キャンペーン」により、卒業時に給食費の払い残しがある家庭が「〇(ゼロ)」の状態が4年間継続している。
- ・資源物回収やアルミ缶回収は、校区の事業所や家庭からも頼りにされる活動となり、本校PTAが、地域の資源物循環の推進役となっている。
- ・環境整備で慰労のための豚汁を振る舞ったり、お弁当の日の実施に向け、関連したPTA活動を連動させたりするなど、目的意識を持って楽しんで参加できる活動を取り入れたことで、PTA活動への積極的姿勢が増した。

### 課題

- 〇活動の実施時期の見直しや内容の精選をすすめ、負担感無く参加をしていただけるような活動をめざす必要がある。
- 〇学校の教育活動に有効な地域人材の活用を、PTAが情報提供するなどして関わり、一層すすめる必要がある。



# 【 埼玉県さいたま市立常盤北小学校 】

～ すべては 子供たちの笑顔のために ～

## 特徴的な活動について

### 親の学び

- ・保健体育委員会による講演会 年2回
- ・PTA研修の開催 年1回
- ・ひまわりフェスティバルの開催 年1回  
(保護者が学校にリサイクル店、喫茶店などの模擬店舗を出店し、子供たちが楽しみながら、ごみの分別やお釣りの計算など社会の仕組みを学ぶ活動)

- ・25年間むし歯ゼロ
- ・ベルマーク収集活動
- ・資源回収 月1回

### 学校との協力

### 児童

### 情報共有

- ・PTA会報年2回発行
- ・親ひま(おやじの会)ニュース発行
- ・はあもにい(運営委員会だより)年11回発行

### 地域との連携

### 防犯活動

- ・登校指導・校門見守り活動(30分)1家庭年6回
- ・ヒヤリハットマップの作成
- ・地域や保護者による防犯パトロール

- ・花火大会
- ・球技大会
- ・自治会夏祭

所在地:埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4丁目2番12号



## 地域・学校の特徴:

文教都市・浦和区にある一番新しい小学校です。平成27年度、開校25周年を迎えました。

学区は東京ドーム約5個分の大きさですが、家庭・学校・地域の連携がバランスよく取れています。

**全校児童数:292名(5月1日現在)**。開校以来、児童数は減少していますが、最近は横ばいの傾向です。

## 成果と課題

・近年児童数が減少し、各家庭のPTA活動の負担が大きくなってきました。

そこで、PTA活動に消極的だった方(主に父親)が参加しやすい環境を整え、参加者の母数を増やすことで、その負担を減らすことができました。また、その活動の場で生まれる交流で、保護者と地域の方とのコミュニケーションが活発になりました。

・会員の声をよく聞き、必要のある場合は協議しその意見を取り入れています。今後は、共働き世帯も増えていますので、誰もが参加しやすい活動の工夫がさらに必要であると考えます。



●年2回発行したPTA会報【左】親ひま(おやじの会)ニュース【中央】年11回発行した『はあもにい』(運営委員会だより)【右】